

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	02 13 01	中期総合計画主要施策番号	4-02	担当課	部・課	企画部 次世代サポート課	
事業名	心豊かなたくましい青少年育成事業			内線	2851		
				E-mail	jisedai@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	S45 ~	根拠法令等	長野県青少年育成県民会議補助金交付要綱、チャイルドライン支援事業補助金交付要綱				
実施方法	長野県青少年育成県民会議及び長野県チャイルドライン推進協議会へ補助金を交付して実施					国庫・県単	県単独事業

  

事業の概要等	目的 (必要性)	・青少年保護育成条例によらない県民総ぐるみの青少年健全育成運動を展開するとともに、その推進体制を整備する。 ・子どもの声に耳を傾け、その心を受け止めるチャイルドラインの県内における実施体制を整備する。				
	対象	・県内の青少年、青少年の保護者及び指導者 ・県内の子ども(18歳以下)				
	目指すべき姿	・県民総ぐるみの青少年健全育成運動を展開し、県民の青少年健全育成の機運を高める。 ・インターネット上の青少年に有害な情報への対応方法などを、青少年やその保護者などが正しく理解している。 ・生活上の諸問題や悩みを抱えて子どもが気軽に電話ができる体制が整っている。				
	事業内容	青少年育成県民会議への補助(補助率:定額 財源:一般財源) 【県民会議の主な事業】 ・青少年健全育成県民大会、少年の主張県大会、セーフネット講座、青少年育成指導者研修会等  チャイルドライン推進協議会への補助(補助率:定額 財源:一般財源)				

  

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)		千円	10,993	10,242	9,466	・補助金 10,242千円
	決 算 額 (B)		千円	10,993	10,242		【内訳】
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	10,993	10,242	9,466	青少年育成県民会議事業補助金 6,121千円
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.50	0.50	0.50	チャイルドライン支援事業補助金 4,121千円
	概算事業費 (B(H24はA)+C)		千円	15,152	14,371	13,595	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	非行少年数(成)	人	1,979	1,742	1,700	・青少年健全育成県民大会を小諸市で開催し、541名の参加者を、また、少年の主張長野県大会を箕輪町立箕輪中学校で開催し、1,616名の応募を得た。 ・セーフネット講座を開催し、31回・6,757人の参加者を得るとともに、青少年育成指導研修会を松本市及び長野市で開催し、50人の参加者を得た。
	不良行為少年数(成)	人	7,539	6,945	6,900	
	チャイルドライン電話受付件数(活)	件	9,679	10,131	10,000	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> チャイルドライン電話受付件	円/件	469	407	370	(効率指標、算出式) チャイルドライン支援事業補助金/電話受付件数

  

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価				評価区分
	・長野県青少年育成県民会議へ補助することにより、県民の青少年健全育成の機運を高め、非行少年数を前年より、減少させる。 ・チャイルドライン運営団体に補助することにより、概ね10,000件程度の電話を受け付ける。	・万引き防止啓発リーフレットの配布を高等学校、中学校に対し、実施したほか、全国強調月間等で啓発パンフレット等を配布した。H23では、非行少年数は1,742人で前年度と比較して237人減少した。 ・長野県チャイルドライン推進協議会に対し、チャイルドラインを運営する経費を補助した。H23では、10,131件の電話を受け付け、前年度と比較して452件増加した。				b 期待どおり

  

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	・全国で唯一青少年保護育成条例を持たない本県では、県民総ぐるみで青少年健全育成運動を進める必要があるため、その推進母体である県民会議へは、県が主体的に支援していく必要がある。 ・チャイルドラインの電話受付件数は、引き続き高水準であり、その運営を支援するため、県が継続して支援する必要がある。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・平成23年度は非行少年数は減少したが、オートバイ盗の件数は増加していることから、その防止について一層の啓発をしていく必要がある。				
	特記事項	平成23年度信州型事業仕分け実施(チャイルドライン支援事業)				